

○研究プロジェクト 「企業財務リスク管理プロジェクト」

開催責任者 経営学部 竹澤直哉

第 1 回 2024 年 9 月 28 日

第 2 回 2025 年 3 月 8 日

南山大学 J 棟 J55 教室



研究プロジェクトは以下のとおり、開催された。

◇研究目標

企業の財務戦略リスクの評価を目的とする。具体的には、

1. 企業の財務戦略をリアルオプションとして認識し、その価値評価の可能性について明らかにすることを目指す。
2. 高リスクプロジェクトを複数抱える企業の財務リスクを評価・分散する理論的枠組みについて検討することを行う。

◇報告者及び題目

第 1 回

2024 年 9 月 28 日 (土)

開会の挨拶：竹澤直哉（南山大学経営学部）

講演会・討論

タイトル：「アニメ制作における資金調達の課題」

講演者：仲村直人（P.A.WORKS 財務部部長）

司会：武内幸生（南山大学経営学部プロジェクト研究員）

昼休み 交流会

報告・討論

タイトル：「企業のキャッシュフローリスク管理について」

報告者：竹澤直哉（南山大学経営学部）

司会：赤壁弘康（南山大学経営学部）

閉会の挨拶：竹澤直哉（南山大学経営学部）

第2回

2025年3月8日（土）

開会の挨拶：竹澤直哉（南山大学経営学部）

講演会・討論

タイトル：「アニメ制作における資金調達の課題」

講演者：仲村直人（P.A.WORKS 取締役）

司会：武内幸生（南山大学経営学部プロジェクト研究員）

昼休み 交流会

報告・討論

タイトル：「RSVMの問題意識、その概要と可能性について」

報告者：宮原孝夫（名古屋市立大学名誉教授）

司会：武内幸生（南山大学経営学部プロジェクト研究員）

閉会の挨拶：竹澤直哉（南山大学経営学部）

◇研究プロジェクトの討論内容

第1回

2024年9月28日（土）

仲村直人氏のご講演より、アニメ制作会社が抱える直近の課題（制作スケジュールの遅延や製作費の高騰など）について報告があり、こうした財務リスクを適切な運転資金管理によってリスク分散する方法について午後の報告で議論された。これらの知見を踏まえた理論モデルの構築について討論が行われた。

第2回

2025年3月8日（土）

仲村直人氏のご講演より、アニメ制作会社が抱える財務リスクを明確にすることで、そのリスクをリアルオプションとして捉える可能性について議論を深めることが行われた。そして、資金管理の観点から制作プロジェクトの価値評価方法について、数値的な価値評価に関する意見が交わされた。

宮原孝夫先生の RSVM に関するご講演により、高いリスクを抱えるベンチャーやスター

トアップ企業の評価、保険など、さまざまな分野における価値評価を可能にする理論的枠組みが紹介された。その後、武内幸生研究員より、RSVM の不動産評価への応用の可能性に関して議論が交わされた。

2 回のプロジェクトを通して、新しい発見と気づきがあり、企業の財務戦略に関する価値評価および高いリスクを抱えるプロジェクトの評価方法について、一定の方向性を見出すことが可能となった。

◇研究成果発表

竹澤直哉・赤壁弘康・仲村直人・武内幸生、「日本アニメ制作会社の制作費資金調達における キャッシュフローのリスク分散化」、南山大学経営研究センター Working Paper No.2501、2025 年 4 月。

※出席者の所属先・職名は、研究プロジェクト開催当時のものです。